

平成29年度（相模原中央支援学校）不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況	検証結果
法令遵守意識の向上 (公務外非行の防止、職員行動指針の周知徹底)	職員一人ひとりに常に公務員としての自覚を持たせ、公務外非行を防止する。	①事故防止会議、不祥事防止研修会等で公務外非行に関する注意喚起を繰り返すことで、公務員としての自覚を深めることができた。 ②職員同士がコミュニケーションを取り合える、風通しの良い職場づくりを推進することができた。	A
			◎
わいせつ・セクハラ行為の防止 体罰、不適切な指導の防止	職員や幼児・児童・生徒の人権を守るための取組みを通して、わいせつ・セクハラ行為、体罰や不適切指導を未然に防止する。	①長期休業期間を利用し、外部講師による校内人権研修会を実施することができた。 ②わいせつ・セクハラ行為の防止を目的とした外部講師による研修会を実施することができた。 ③体罰や不適切指導防止に関する事故防止会議、不祥事防止研修会等を実施することができた。	A
			◎
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策 (パスワードの設定、誤廃棄防止)	個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深め、個人情報の流出等に係る不祥事を防止する。	個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深めるための研修を実施することができた。 ②所属 USB メモリ等の記録媒体を使用する場合は、使用に係る手続きを徹底し、職員間でも返却等を確認し合うことができた。 ③個人情報の紛失・誤廃棄などを防止するため、持ち出し許可などの個人情報登録に係る手続きを徹底することができた。	B
			◎
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を徹底し、酒酔い、酒気帯び運転の根絶を図る。	①職員啓発資料等をもとに、交通事故等の防止に向けた研修会を実施することができた。 ②軽微な違反もしないという高いコンプライアンス意識を醸成することができた。	B
			◎
業務執行体制の確保等 (情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	法令・要綱・マニュアル等諸規程に基づき、日常点検や相互チェックを行ない適正に業務を遂行する。	①各種業務遂行に当たり、マニュアル等を遵守するとともに、複数による点検的確認を行い、不祥事防止の徹底を図ることができた。 ②管理職等への「ほう・れん・そう」を徹底し、不祥事の未然防止を図ることができた。 ③情報共有、業務協力体制を確立し、特定個人に負担がかからないよう留意することができた。	A
			◎
会計事務等の適正執行	県費及び私費会計について、適正な執行、現金の適切な管理等により、会計に係る不祥事を防止する。	①会計事務にかかる諸規程の遵守、予算の計画的な執行及び複数による確認等の徹底により、不適正経理を防止することができた。 ②「私費会計事務処理の手引」に基づく執行方法の周知を図ることができた。	A
			◎
不祥事根絶	不祥事防止に向けた注意喚起、不祥事を絶対起こさないという意識を醸成する。	①不祥事を防止するため、全職員を対象とした校長との個別面談を実施することができた。	C
			△

※ 検証結果の下段は、職員のアンケートにより「目標が達成できた」と回答した割合
(◎ : 95%以上 ○ : 95~90% △ : 90~80% × : 80%以下)

■ 検証結果

A : 目標が十分に達成できた。

B : 目標が達成できなかった。(個人情報の漏洩1件、交通法規違反2件)

C : その他(アンケートの質問内容に不備があった)

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

最終検証では高い割合で「いる・できる」と回答しており、特に大きな問題となる課題は見られなかった。しかしながら、今年度は個人情報の漏えいや交通法規違反などの事案も発生していることから、平成30年度の「不祥事ゼロプログラム」は、平成29年度と同じ内容とし、事故不祥事の発生ゼロに向けて職員が一丸となって取り組む。